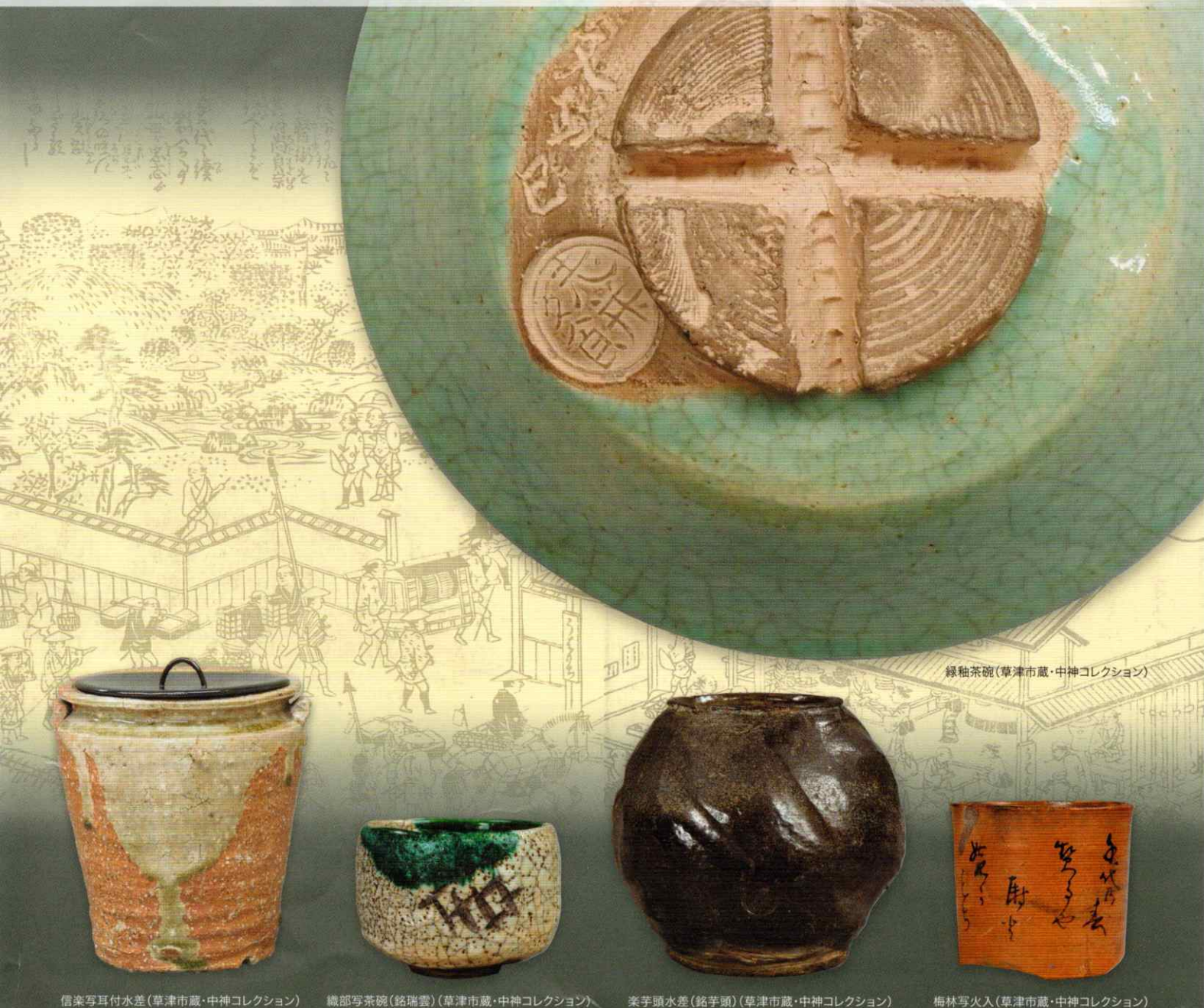


草津宿街道交流館 令和8年春季テーマ展

草津宿 茶の湯サロンをめぐる謎



緑釉茶碗(草津市蔵・中神コレクション)

信楽写耳付水差(草津市蔵・中神コレクション)

織部写茶碗(銘瑞雲)(草津市蔵・中神コレクション)

楽芋頭水差(銘芋頭)(草津市蔵・中神コレクション)

梅林写火入(草津市蔵・中神コレクション)

令和8年2月14日(土) ▶ 4月5日(日)

【会場】草津市立草津宿街道交流館 2階展示室(滋賀県草津市草津三丁目10-4)

【休館日】2月16日・24日、3月2日・9日・16日・23日・30日 【開館時間】9:00~17:00(入館は16:30まで)

【観覧料】大人 200円(160円)、高校・大学生 150円(120円)、小中学生 100円(80円)※()は20名以上の団体料金 ※史跡草津宿本陣との共通券あり

【主催】草津市・草津市教育委員会

近江名所図会・乳母が餅(草津市蔵)



狗子図腰高障子(草津宿本陣蔵)



皆川淇園筆襖書(部分)(草津宿本陣蔵)(パネル展示)



蛇餅彫銘赤楽茶碗(草津市蔵・中神コレクション)



南蛮写横手急須(草津宿本陣蔵)



楽坏台(草津宿本陣蔵)

令和8年春季テーマ展

草津宿 茶の湯サロンをめぐる謎

歴史の中の茶の湯

織田信長は全国平定を目指すにあたって茶の湯に注目し、名物茶道具を収集するなど、自らの政権を代表する文化として利用しようとした。茶会を開きその価値を伝え、恩賞として茶道具を下賜することによって、武家社会の中で家宝となりえる価値を持つものとしたのです。それを受け継いだ豊臣秀吉は天下統一の過程で、数々の盛大な茶会を開き著名な茶人を招いています。千利休、古田織部らが活躍した秀吉の茶の湯政策により、茶の湯は儀式儀礼として位置づけられました。江戸時代に入り、小堀遠州など茶の湯に堪能な大名たちが現れます。その後、茶の湯文化は大名との交流を必要とした富を蓄えた商人などにも広がり、江戸時代の長く続いた治世を反映して、諸国の大名や公家、茶会を楽しむ人々の間で、なくてはならない社交ツールとなりました。

街道の茶の湯サロンと「姥ヶ餅焼」

人々が旅を楽しむようになった江戸時代、その道にあって旅人にひと時の癒しを与えたのが草津名物「うばがもち」です。東海道から渡船のため矢橋港へ向かう分岐点に店がありました。八代目当主瀬川都義は、姥ヶ餅屋の由来書「養老亭記」を、京都の

儒学者皆川淇園に依頼しています。そこには、神君家康公や茶の湯に関わる由來が記述されており、通行の大名に大いにアピールしたことでしょう。都義は、店の奥に築山を設けて庭を造り、来駕の諸公や諸貴人に衣服・茶器の類を披露し、膳所藩主などとも茶会を催していたとされています。当初店の皿を焼くことから始まった「姥ヶ餅焼」は、都義が当時の名陶工に「姥餅」の窯印を預け、披露する茶道具を注文したこと、茶陶へと発展しました。街道の文化サロンから生まれた「姥ヶ餅焼」には、時代の流行を映す作陶作品が含まれ、作風もまちまちな焼き物たちはそれぞれの時代を語っています。

皆川淇園と草津宿

東海道と中山道が合流・分岐する草津宿は、街道を通じて多くの文化が行き交い、参勤交代の大名も多く通行する場所でした。その様相は、今も残る草津宿本陣の大福帳に宿泊や通行の記録として記されています。その草津宿本陣の向上段の間に「養老亭記」を書き、膳所藩の教学にも関わっていた皆川淇園の襖書が残ります。そこには、どんな物語があったのでしょうか。街道の文化サロンをめぐる、茶の湯と謎が渦巻く草津宿を探ります。

■ギャラリートーク

2月21日(土)、3月20日(金・祝)
いずれも13:30より30分程度

■同時開催

本陣四季彩々 春の段
「本陣で楽しむひなまつり」
令和8年
2月14日(土)～3月29日(日)

国指定史跡
草津宿本陣

〒525-0034
滋賀県草津市草津一丁目2-8
TEL・FAX: 077-561-6636

草津宿街道交流館

東海道と中山道が合流する宿場町の歴史館



観覧料金	単館券	共通券
大人	200円(160円)	350円(320円)
高・大学生	150円(120円)	260円(240円)
小・中学生	100円(80円)	180円(160円)

※()内は20名以上の団体料金です。

※市内に在住する65歳以上の方は小学生・中学生の金額と同額です。

※市内に居住する障がい者の方ならびに介護する方は無料です。

※毎週土曜日は小・中学生は無料です。

※史跡草津宿本陣・草津宿街道交流館の共通券もあります。

【開館時間】9:00～17:00(入館は16:30まで)

【休館日】1月曜日(休日の場合は翌平日)・休日の翌日

〒525-0034 滋賀県草津市草津三丁目10-4

TEL 077-567-0030 FAX 077-567-0031

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/kusatsujuku/>



Instagram



ホームページ

